

# ばれっと

2010  
12月  
No.136

P2~3 **すぽっとらいと**

『地域生活支援オレンジねっと』

支え合う地域づくり～住民同士がつながる赤い屋根のお店～



カラーでお見せできないのが残念ですが、「オレンジねっと」さんの事務所（右）の屋根は元気が出そうな赤。隣は今年4月にオープンした「地域ふれあいサロン&ときめきカフェ」です。地域住民の方々の「気軽に出かけておしゃべりできる場がほしい」といった声から生まれました。商店街の空き店舗を活用しています。

## <目次>

- P 4… **サポちゃんで行く骨ヅ口施設見学！ のびすく長町南の巻**  
… **サポ本を読もう！ 『徹底比較！NPO法人VS新公益法人』**
- P 5… **事業報告『出前サポセン』 サポセン広場**
- P 6… **サポセンカレンダー**

# すぽっとらいと

◆仙台市内で活動している団体にスポットをあて、その活動の様子や運営のノウハウをご紹介します。

## 支え合う地域づくり～住民同士がつながる赤い屋根のお店～ 地域生活支援オレンジねっと

みんなで支え合い、安心して健やかに暮らせる地域を目指し活動をしている「地域生活支援オレンジねっと」（以下、オレンジねっと）。「子育てや介護の手助けが欲しい」、「自分のできることで社会貢献がしたい」そんな思いを叶えるために市民で立ち上げた団体です。地域の課題解決のため、さまざまなネットワークをつくり、活動に励んでいる代表の荒川陽子さんにお話を伺いました。



▲代表の荒川さん

### ●原点は子育て時の地域との関わり

子育てで荒川さん自身が迷い悩んでいた頃、親身になって関わり支えてくれたのが地域や近所の方々でした。「自分の価値観だけで育てた子どもは本当に幸せか？」そんな、一人では抱えきれなかった悩みも、多くの人に出会い、多様な価値観に触れながら、人とつながることで乗り切れたそうです。

この経験から、人とつながり支え合うことの必要性を強く感じたと荒川さんはおっしゃいます。地域に住む人同士が、暮らしの中での困りごとを助け合う、生活支援のネットワークを作ることを目的に、地域とともにボランティア活動をしてきた仲間たちと2006年にオレンジねっとを立ち上げました。

### ●多様なニーズにどう対応するか

生活の中での困りごとを、相談者から直接オレンジねっとへ連絡を受ける場合と、社会福祉協議会や地域包括支援センター（注：ミニ情報参照）などを介して連絡を受ける場合があります。

相談内容を事務局が受け、コーディネーターの荒川さんが、その方の自宅を訪問して支援内容の詳細をすり合わせて、ボランティア会員の仲間たちにつなげていきます。

支援ニーズで多いものは、高齢者の病院の付き添いや、仕事を持ったお母さんたちの子育て支援です。しかし中には、障害者の生活支援や子どもの不登校問題、家庭内暴力に関することなど専門的なスキルを要する相談もあり、幅広い分野のボランティアが必要になってきています。

専門知識が必要な場合は、ボランティア会員の中の有資格者につなぎます。オレンジねっとだけで対応できない場合は、地域包括支援センターなどの福祉や介護分野の専門職員がいる施設へつないだりして、地域ネットワークをフルに活用し対応するようにしているそうです。

これからはもっと団体内部でも勉強会を開催したり、専門分野研修への受講機会を増やしたりしながら、ボランティア会員のスキル向上に努めて

いきたいと荒川さんはおっしゃっていました。

### ●思いをつなぎ活動を継続させていく

生活支援の困りごと対応は、週に100時間（60件）を超え、年々相談件数も増えているそうです。日々の地道な取り組みが信頼につながった結果ではないでしょうか。

団体の人数も、立ち上げ当初は十数名でしたが、今では45名を越えるボランティアの仲間が集うようになりました。

同じ泉区南光台地域で、30年以上もボランティア活動をしている団体の大先輩たちから「これからの世代に我々の思いを引き継いでくれるオレンジねっとができたから安心だ。応援するよ」と声をかけてもらい、非常に嬉しかったと荒川さん。「このような信頼に応え、思いをつなげていくことが自分の役割であり、放棄できない責任です」ともおっしゃっていました。

### ●地域の茶の間～ときめきカフェ～

核家族化・少子高齢化・IT社会化などの影響で、人と関わる場が極端に少なくなっている昨今。荒川さんは、地域の中でさまざまな世代の人が集える場所を作りたいと考えるようになったそうです。地域の方々からも、「地域の人とふれあえる場が少ない」、「気軽に外へおしゃべりできる場所が欲しい」という要望が寄せられていました。そこで「ふれあいの場を地域に作る」と、地域交流サロンの開設を目指しました。

そして、今年4月に行政の商店街活性化事業の助成と空き店舗所有者の協力を受け、「地域ふれあいサロン&ときめきカフェ」をオープンしました。気軽に立ち寄れるカフェでは、地域の気の合う仲間たちと趣味のサークル活動などを行うことができます。無料の展示スペースには、地域のイベントチラシなども配架できます。

また、専門家を講師に招き、食に関する座談会やボランティア養成講座などを積極的に開催しています。

取材日当日も折り紙教室が開かれていて、みなさんととても楽しそうでした。このサロンが、地域

の茶の間として浸透している様子をうかがうことができました。



▲地域ふれあいサロン&ときめきカフェにて  
(折り紙教室の様子)

●**広げよう支え合いの輪**  
～一歩踏み出す勇気～

「地域にオレンジねっとの活動が認知されてきて、支え合いの地域ネットワークができつつある」と荒川さん。

特に子育てをしているお母さんたちは地域との関わりも深く、色んな人との出会いでネットワークが広がっています。荒川さんは、「これからは地域社会とのつながりを大事にしている女性が、支え合いの輪を広げるキーパーソンです。そして日頃、地域社会と接する機会の少ないお父さんたちへも、家庭で情報がつながり、地域活動の一歩を踏み出して行って欲しい」とおっしゃっていました。

関心を持って地域と関われば、そこにどんな課題があるのかに気づき、自己実現につなげることができるのではないのでしょうか。

そして、すそ野が広がれば、課題解決に取り組めるネットワークも広がり、今にも増して多種多様なニーズに応えられるようになると思います。

今後について何うと、「地域に関わることは、地域に住む自分たちのためでもあり、子どもたちの未来のためでもあります。これからも、ふれあいの場や機会を作って、助け合いの輪を大きく広げていきたい」とお話ししてくださいました。

★★ **取材を終えて**

個人あるいは家族と、社会のつながりについて改めて考えさせられる取材でした。昨今、私たちは「お互い様」の感覚を少し忘れかけているのではないのでしょうか。私たち誰もが周りの人たちのちょっとした気遣いや見守りの中で支え・支えられながら暮らしています。このような人と人をつなぐ「お互い様」の気持ちを自然に持てるような社会を、みんなで目指したいものです。

(担当：佐藤 秀之)

<**団体情報**>

**地域生活支援オレンジねっと**

「困った時はお互い様」をモットーにお互いに支え合い、住みよい街づくりの活動を続けている団体。3つの活動の柱がある。

1. ケアーズ部  
生活全般の困りごとのサポート
2. Smile部  
地域福祉情報誌「ときめき通信」の発行
3. ボランティアセンター  
福祉相談窓口・サロン・ときめきカフェ運営

■ **連絡先**

〒981-8002  
 仙台市泉区南光台南1-1-23  
 TEL: 022-251-6435  
 FAX: 022-253-2872  
 HP: <http://chiiki-orangenet.org/>  
 Email: [youko\\_aratyan@yahoo.co.jp](mailto:youko_aratyan@yahoo.co.jp)

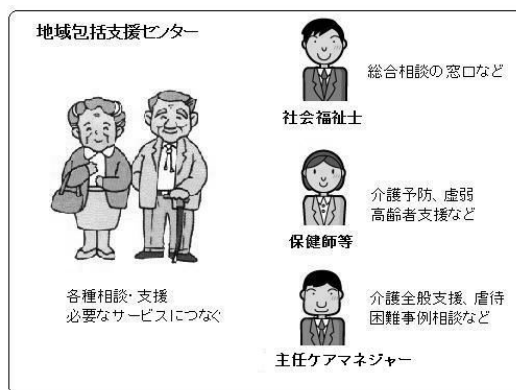
<**ミニ情報**>

■ **地域包括支援センターとは？**

オレンジねっとも困りごと支援活動の中で、連絡を密にとっている「地域包括支援センター」をみなさんはご存知ですか？

地域包括支援センターは、高齢者ができる限り住みなれた地域で生活を継続できるよう、地域における包括的な支援をするための相談窓口として、介護保険法の改正に伴い2006年4月に創設されました。

介護保険サービスや保健福祉サービスなどの相談に対応できるよう、専門職員として社会福祉士・保健師・主任ケアマネジャーが配置されています。



概ね中学校区ごとに設置され、仙台市内には44か所あります。地域包括支援センターの詳細を知りたい方は、以下へお問合せください。

**仙台市役所健康福祉局  
 保険高齢部介護予防推進室**

TEL: 022-214-8317 FAX: 022-214-8191

# サポートと行く **骨** プロ

## 『のびすく長町南』の巻

### 仙台に情報の背骨を通すプロジェクト（通称：骨プロ）とは？

市民による情報の受発信を支援し、市民活動に関する情報を多くの市民に届けるため、サポセンを含め仙台市内の11の公共施設が協力して行うプロジェクトです。このコーナーでは、各施設で「骨プロ」がどのように活用されているのかをご紹介します。

### 仙台市子育て支援プラザ のびすく長町南

仙台市太白区長町7丁目20-5  
ララガーデン長町5階  
TEL:022-399-7705  
FAX:022-399-7706

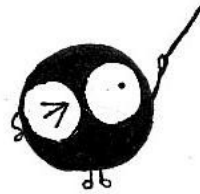
のびすく長町南は「ママ&パパの〇〇したい！を応援したい！」をキャッチフレーズに、乳幼児の一時預かり事業とひろば事業の二本の柱で子育て支援をしている公共施設です。10月28日で一周年を迎えました。一日の利用者はなんと300~400人。太白区だけではなく市外も含めた広い地域から利用者が訪れています。今回は館長の熊谷涼子さんにお話を伺いました。

### ●立地を活かしたチラシ配架

のびすく長町南は、ララガーデン長町の5階にあります。商業施設にある立地を活かして、骨プロチラシは館内外の二か所に配架されています。まず館内には、子育てに関するものに限って、テーマごとに棚の上に並べています。この方法は子どもがラックで怪我をしないようにとの配慮からです。もう一か所は正面入り口の手前に設置されています。ここは子育てに関わる人だけではなく、ララガーデンの利用者も対象としているので、さまざまな情報の発信をしています。開館日に関わらずいつでも手にとれるため、とても好評だそうです。

### ●ママとパパを応援！

のびすく長町南では「ママとパパの〇〇した



▲入口手前に設置されている骨プロチラシ



い！を応援したい！」をキャッチフレーズに、子育て中のママやパパの主体的な活動が広がるよう、先輩ママパパとの交流会や企画などに携わっていただきながら、積極的にサポートしています。

### ●利用者目線で

のびすく長町南には、現在子育て中の職員もいます。ファミリーでのおでかけスポットや子育て支援施設を利用する側でもあるので、利用者の目線を大切にしながらの施設運営を心がけているそうです。まだまだ新しい施設ですが、利用者に寄り添いながら、多くの方々に愛されるのびすく長町南を目指している様子が取材を通して伝わってきました。

(担当：西川 日和)

## 今月のサポ本

### 『C'sブックレット・シリーズNo.10

## 徹底比較!NPO法人vs新公益法人』

NPO法人と新公益法人の違いを非常にわかりやすく、簡潔にズバリ解説しています。図表も豊富で、全62ページ。一晩と言わず、数十分で読めてしまう手軽さです。Q&A方式で、知りたい項目をすぐに見つけられるのも特徴です。

しかし、この本のすごいところは、それだけにとどまりません。「そもそも、非営利って何ですか？」という素朴な疑問か

ら、NPO法が生まれた背景、認定NPO法人と公益社団法人の比較に至るまで、39の質問を徹底的に解説しているところです。法人住民税、登録免許税、印紙税など税金の課税・非課税・免除など、ちょっとわかりづらい税金の話も明快に書かれています。

法人設立を考えている方は、まずこの本を手にとってみましょう。(担当：太田 貴)



著者：脇坂 誠也  
発行：(特活)シーズ・市民活動を支える制度を作る会  
定価：500円(税込)

■この本は「A-4 公益法人・財団・協同組合」にあります。



サポセン  
2010年度

# 10月実施事業報告

## 出前サポセン ながまち交流フェスタ2010

日時：2010年10月24日(日) 10:00~15:00  
場所：太白区中央市民センター

サポセンの機能をご紹介するため、2007年度より実施している「出前サポセン」。

今回は、太白区中央市民センターで開催された「ながまち交流フェスタ」に、昨年を引き続き伺いました。

ながまち交流フェスタは、太白区内で活動している市民活動団体やサークルが集まり、日頃の活動の紹介や成果の発表を行うイベントです。今年は30団体が参加しました。

サポセンのブースは、宮城大学食産業学部の味覚体験コーナーと同室でした。相乗効果で来場者が途切れることなく、常に賑わっていました。

今回は初の試みとして、30分の短縮版ミニNPOいろは塾を、11時、13時、14時と3回開催しました。NPOいろは塾とは、NPOの基礎についてわかりやすく学べる、サポセンの人気講座です(通常は90分)。スタッフが交代で塾長を務めています。受講者の目標10名のところ9名の参加がありました。

参加してくれた学生の一人は、サポセンの存在を初めて知ったことや、「NPOについては、ニュースなどで聞き流す程度でしたが、今日の話聞いて、NPOのイメージが少し膨らみました」という感想を聞かせてくれました。

100部用意したサポセンパンフレットもほぼなくなり、サポセンの存在を少しでもPR出来たのではないかと思います。このような地道な活動によって、市民の方が少しでも市民活動に興味を持ち、サポセンのご利用に繋がれば非常に嬉しく思います。

(担当：伊藤 香)



▲ながまち交流フェスタ2010@太白区中央市民センター(サポセンブースの様子)

## サポセン広場

利用者みなさまから寄せられた声にお答えする、サポセン広場。今回は、2010年4月~10月の間に利用票の感想欄に寄せられた声をご紹介します。

ばれっとにイベント情報が載らないのは困る。ネットを見れない人もいるから。(5月)

### Answer

ばれっとでは紙面に限りがあるため、ひと月分のイベント情報しか掲載できず、広報期間も短いものでした。そのため、2010年4月から、より多くの情報を、長期間載せることができるHPでの告知に一本化しました。しかしご指摘の通り、インターネットを見ることのできない方もいらっしゃいます。そこで、6月からHPに掲載したものを紙に印刷して、館内で配架しております。ぜひこちらをご活用ください。

■利用票は、利用者とスタッフをつなぐ大切なものです。感想欄にはぜひ、ご意見ご感想をお寄せください。随時サポセン広場でご紹介しながら、みなさまと一緒に利用しやすいサポセンにしていきたいと思っています。(サポセンスタッフ一同)

# 12月～サポセンカレンダー ●○○● <申込み> TEL 022-212-3010

日時	イベント内容	会場	料金
12月15日(水) 19:00～21:00	<b>ONPOステップアップ講座 Step2「団体グッズde活動PR」</b> 団体宣伝効果バツグンの「団体グッズ」開発ノウハウを学び、多くの方に団体のことを知ってもらいながら、活動資金アップにつながります。 アドバイザー：太田 貴(サポートセンタースタッフ)	セミナーホール (6F)	500円 (事前申込必要)
1月18日(火) 14:00～16:00	<b>〇こらぼん協働相談所</b> 行政と市民活動団体・NPOの協働について相談を受け付けます。 1団体1時間程度。 相談員：特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター 常務理事・事務局長 紅邑 晶子 ※仙台市市民協働推進課の職員、仙台市市民活動サポートセンターのスタッフも同席して相談に対応します。	研修室1 (3F)	無料 (事前申込必要)
1月19日(水) 14:30～16:00	<b>●NPOいろは塾</b> NPOの基礎について、90分でわかりやすく学びます。	研修室5 (4F)	500円 (事前申込必要)

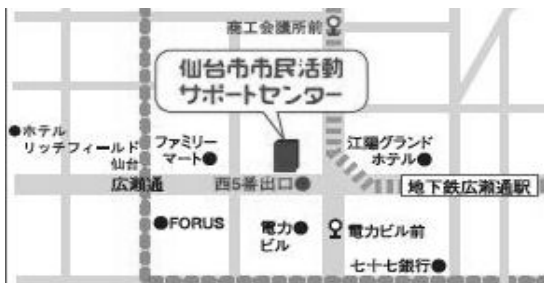
## 仙台市シニア活動支援センターからのお知らせ <申込み・問合せ> TEL 022-217-3983 仙台市シニア活動支援センター (サポセン3階)

日時	イベント内容	会場	料金
12月7日(火) 18:00～20:30	<b>◇お役に立ちたいあなたのための棚卸しサロン(先着20名)</b> 活動の実践と仲間づくりにつながる、学びと交流の場です。 ゲスト：月刊「楽園倶楽部」 編集長 岩渕 滋さん	セミナーホール (6F)	500円 (事前申込必要)
12月11日(土) 10:00～17:00	<b>◆専門相談(先着5人/一組50分程度)</b> 地域の防犯、防災、まち美化活動にかかわっている方や、関心のある方のご相談に応じます。 相談員：八木山南地区社会福祉協議会 会長 阿部 利美さん	研修室1 (3F)	無料 (事前申込必要)
12月19日(日) 14:00～17:00	<b>◇出前シニアセンター</b> 臨時シニアコーナーで、シニアライフの情報提供や相談を承ります。	市民図書館 (3F)	無料 (事前申込不要)

### ■ 仙台市市民活動サポートセンターとは

さまざまな分野の市民活動団体やNPO、ボランティアなど、非営利で公益的な活動をしている人たちが、これから活動しようと考えている人たちのための拠点施設です。

### ■ 案内図



○当施設に駐車場・駐輪場はございません。お車や自転車で来館される方は、周辺有料駐車場・駐輪場をご利用ください。

注) 路上駐車・駐輪は、周辺の迷惑となりますのでおやめください。

○ご来館の際は、公共交通機関をご利用ください。

[最寄のバス停] 電力ビル前、商工会議所前  
[地下鉄] 広瀬通駅下車、西5番出口すぐ

**■ 開館時間** ○平日 午前9時～午後10時  
○日曜・祝日 午前9時～午後6時

### ■ 休館日のお知らせ(施設点検等のため)

12/22

年末年始休館に伴い、一週間繰り上がります。ご注意ください。

### ■ 年末年始休館のお知らせ 12/29～1/3

**■ 編集後記** ◆サポセン入口にいるベンジャミン。今年はいろいろ飾りをつけられ、華やかです。「光のページェント」が始まったら、電飾もつけようかな、と考えています。(菅野)

◆地域での支え合いを実現してきた「地域生活支援オレンジねっと」。地域での困りごとを力を合わせて解決していく活動は、まさに市民活動・市民自治の原点ですね。(太田)

発行: 仙台市市民活動サポートセンター

〒980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目1-3

TEL:022-212-3010 FAX:022-268-4042

ホームページ <http://www.sapo-sen.jp>

発行日: 2010年12月3日

編集: 特定非営利活動法人 せんだい・みやぎNPOセンター

編集人: 菅野祥子 太田貴

仙台市市民活動サポートセンターは、特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンターが仙台市の指定管理者として、管理運営を行なっています。[指定管理期間: 2010年4月1日～2015年3月31日]